

2022

同友しずおか

6

「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった！」

VOL.523



私の逸品

幸和ハウジング(株)

お客様の生活と生命を
守ることを使命として



静岡県中小企業家同友会

同友会で経営者が変わる、社員が変わる、会社が変わる。



中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体質の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

同友会3つの目的

1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる
悩み、解決へのヒント、将来への展望。
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130
〒424-0857 静岡県東区御幸町1-1-106 FAX/054-255-7620 E-mail/kyouka@tdou.or.jp

◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の^{きょうじ}矜持と努力を結集し、
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

2025年ビジョンの実践

【第12回】

地域に仕事を増やし、雇用を増やす
ことが自社の最大の地域貢献

「2025年ビジョンの実践」では、ビジョンプロジェクトメンバーが静岡同友会2025年ビジョンを自社の未来と重ね合わせ、いかに実践していくかをコラム形式で毎月掲載していきます。

同友会では様々な経験をさせてもらい、その度に成長させてもらっていますが、この2025ビジョンプロジェクトもその一つだったと感じています。ビジョンプロジェクトでは同友会づくりを担当させてもらい、当時の全県経営フォーラムではパネルディスカッションのコーディネーターを務めさせていただきました。同友会では役得という言葉をよく聞きますがまさのその通りだと思います。

当時の同友会づくりでは『会員増強こそ最大の地域貢献』とビジョンメンバーで確認しあいましたが、同友会内だけでとどまらず、これを自社に置き換えるなら仕事をつくり、地元民を雇用し、地域貢献しなければなりません。自社では社員の高齢化という問題がある中、昨年度は3名の30代メンバーを採用することができました。体力仕事の現場ではありますが、女性も1名採用することができました。これらの意識は2025ビジョンに関わることができたのが自分の中で大きかったのではないかと思います。

さて最後に自社の状況を振り返りますと、昨年度は過去最高の売り上げを達成できました。同友会に入会してから10年が経ちますが、入会当時は20%にも満たない自己資本比率でしたが、70%を超えるまでに成長することができました。しかし現状に満足することはなく、まだまだ課題は山積みですので、これからも同友会で学び、もっともっと自社を良く、また皆さんと共に良くしていきたいと思ひます。

塚本 和成氏 (㈲塚本商店・志太支部)

静岡県中小企業家同友会 第49回定時総会

5月13日(金) レイアップ御幸町ビル&プラザヴェルデ&ZOOM



5月13日(金)に静岡県中小企業家同友会第49回定時総会が開催され、137名が参加しました。昨年度に引き続きのハイブリッド開催に加え、プラザヴェルデ(沼津市)にサテライト会場を設置しました。来賓に高橋良和氏(静岡県経済産業部商工業局長)、白瀧智彦氏(財務省東海財務局静岡財務事務所長)、日詰一幸氏(静岡大学学長)、山本義彦氏(静岡大学名誉教授・同友会顧問)をお招きし、高橋氏、白瀧氏、日詰氏よりご祝辞を賜りました。遠藤一秀会長(遠藤科学㈱)は冒頭の挨拶で「静岡同友会は来年で50周年を迎えます。不安定な経済下ではありますが、決意を固め、変革を推し進めるべく行動を起こしていきましょう」と話しました。

総会議事の第1号議案、第2号議案では静岡同友会2025年ビジョンのスタートとなった昨年度を振り返り、2022年度は会員の多様性を生かす多くの学びの場を創り、「会員増強は最大の地域貢献」を合言葉に会員1200名達成に向けた仲間づくりを推進していくことが確認されました。

その後、第3号議案で県理事が承認され、会長に遠藤一秀氏(㈱遠藤科学)、代表理事に井上斉氏(ワシロック工業㈱)、齋藤頼氏(㈱アサギリ)、松葉秀介氏(松葉倉庫㈱)が再任しました。第4号議案では本年度の重点方針が述べられました。本年度も引き続き「入ってよかった」「続けてよかった」「企業も地域もよくなった!」を

スローガンに掲げ、全支部、専門委員会、部会・研究会の県同友会が一丸となり、各組織の活動方針を基に同友会運動をさらに推進していくことが共有されました。

2021年度 組織増強紹介者番付

2021年4月から2022年3月までに、入会紹介をいただいた皆様です!ご紹介誠にありがとうございます!

3名以上ご紹介で次年度全国大会1回ご招待(参加費無料) (敬称略・順不同)

5名紹介	宇佐美健介(富士宮) ㈱エージェントうさみ	
4名紹介	江間省豪(浜松)	データマイン㈱
	井上 斉(静岡)	ワシロック工業㈱
	青山達弘(静岡)	㈱青山建材工業
3名紹介	勝又 薫(御殿場)	(有)勝又造花店
	寺島雅之(志太)	㈱藤枝パークインホテル



会場の様子

記念講演

議事終了後は、「同友会に入ってよかった。続けてよかった。企業も地域もよくなった!」をテーマに、㈱イベント・トゥエンティ・ワン代表取締役社長の中野愛一郎氏(奈良同友会・前中同協青年部連絡会代表)による記念講演を行いました。以下、報告内容を掲載します。

世界を放浪していた旅人が 売上16億円のイベント会社社長に

(株)イベント・トゥエンティ・ワンは先代である父が創業。トンネルの貫通式のイベントからはじまり、多くのイベント事業を手掛けてきました。世界を放浪する旅人だった中野氏が入社するきっかけになったのは、父の余命宣告でした。26歳だった中野氏は「会社は父親の人生そのもので残し



中野 愛一郎氏

ていきたい。一方で自分の夢も諦めたくない。それであれば自分が社長になって両方の想いを叶えていこう」と決意を固め入社。2011年に代表取締役就任。債務超過の連続で倒産寸前の厳しい状況も同友会の学びを全て実践し乗り越え、コロナ前の売上は16億に達しました。

コロナショック直撃を企業発展の機会に変える

2020年2月まで売上昨対125%、11年連続で売上を伸ばしてきましたが、3月55%、5月90%減少。さらにイベントそのものが悪という風潮に。1日200件あった問合せは13件にまで落ち込み、社員8割を休業させるなど厳しい状況に直面しました。しかし心境は「絶対に勝ったる！」と前向きだったといいます。会えない社員に安心してもらうため、社長ニュー

スを毎日発信しました。資金確保の状況や会社の方針など550日連続で社員に伝える情報共有を徹底していきました。

社員一人ひとりが主体者のティール型組織へ

中野氏の承継当初はトップダウン型のオレンジ型組織でした。しかし、会社は成長するも退職者も多く幸せを感じない。より幸せを感じる会社にするため、社員の個性を大事にするグリーン型組織へと変化させてきました。しかしコロナ禍による危機的状況に対応するため、いち早く決断し実行することが求められたことからオレンジ型に戻しました。危機を乗り越えた後「もう一度グリーン型に戻すならその先へ」との思いから、社員全員が主体者のティール型組織への進化にチャレンジしています。

同友会運動と自社経営は不離一体

同友会には取締役だった2007年に入会。2014年に奈良同友会青年部幹事長に就任しました。当時の青年部は所属人数が少なく、青年経営者全国交流会があること、そして奈良の未来について学び合える青年部にしたい思いから45名から90名にすることを総会で宣言。1年後の総会当日に90名を達成しました。青年部が一丸となったことを感じ「自社でも一丸となる組織を実現したい」と役を通じて組織づくりを学びました。

ビジネスモデル、採用、全社員一体化、「この3つが事業を伸ばすために必要」と同友会で学び、実践しています。採用は現場の社員に任せ、採用への責任を社員自身

が持つとともに、会社の理念を学ぶ機会になっていきます。事業展開では、コロナ禍で従来の需要が減った瞬間、新たに生まれる需要を取りこぼさないよう自社の情報発信を行い、新事業に繋がりました。そして何より、皆で同じ方向を向いて仕事をするために、社員が育つ土台となる企業文化の醸成に注力してきました。企業文化を創るには「理念(目的)、使命、価値観、方針、教育が大切」といいます。

2022年3月決算で12億円まで売上は回復し、黒字で終わりました。コロナ禍も採用を継続し、新卒社員は75%占める会社へと成長しました。中野氏は「ピンチになる前から同友会で学び、実践していたからこそ今の自社がある。それでもまだまだ挑戦しなければならぬことがあり、悔しい思いもたくさんしてきました。だからこそこれからも皆さんと共に同友会で学び、自社経営で実践していく」と参加者に伝えました。

記念講演講師プロフィール

中野 愛一郎氏

㈱イベント・トゥエンティワン 代表取締役社長

会内役職：奈良同友会副代表理事・前中同協青年部連絡会代表

所在地：奈良県香芝市藤山1-3-15

業務内容：ハッピークリエイティブ業(イベント業)

社員数：167名(グループ全体)

HP：<https://event21.co.jp/>



今年度は、伊東、御殿場、浜松の3支部と2つの専門委員会で支部長・委員長が交代し、新体制がスタートしました。新支部長・委員長による抱負をご紹介します！

県例会企画委員長

宮本 浩氏

(大栄工業㈱・志太支部)

県例会企画委員長としての抱負



実は昨年から委員会メンバーとなったばかりでの就任ですが、私の周りには前委員長はじめ各

支部から力強いメンバーのサポートがあり、共に昨年に引き続き2025年ビジョン「同友会づくり」に沿った例会のあり方について議論していきたいと思っています。ここ数年の新型コロナウイルスの影響で各支部共に集合型の例会からZOOMとリアルを上手く使いながらの例会がスタンダードになってきている中、今年はその良い点を活かしながら、出来る限りリアルでの委員会開催と各支部の例会に参加したいと思っています。若手から重鎮の会員全員がもっと気軽に参加できる例会作りと支部間の会員

の交流を深めていくための要になるような活動を行っていききたいと思っています。

政策委員長

松下 恵美子 氏

(三協紙業(株)・静岡支部)

各支部で「お宝発見活動」を!!

「地域の魅力(お宝)をもう一度見直し、自社の強み(お宝)と結びつけて新たな事業を創りだそう」



政策委員会という政策や条例といった堅いイメージを抱かれています。その役割は「繋

がること」だと思っています。景況調査を通して私達の声を行政や各機関に伝えていきます。また「ともに地域の未来を創る場」となる条例の振興会議が各支部・地域で活発に行われるよう情報交換をしていきます。

ただ、そこで最も大切なことは、一人でも多くの会員が自ら主体者となって関わるのだと思います。「地域の未来は自社の未来である」と考えることです。そのため今年度は、各支部で、表題の活動「お宝発見活動」を広げていきたいと思っています。この活動が県全体で繋がったら面白いことが起きそうです!!

伊東支部長

野村 勝也 氏

(株)野村商店・伊東支部)

コロナに負けない伊東支部!!



2015年に入会して、同友会活動を通じて色々な経験をさせていただきました。昨年度ペテランの先輩方

が卒業しましたが、その想いをしっかりと我々現役世代が受け継いで活動します。今年度は会員全員が当事者意識を持って行動する為に、会員の声を形にしていこうと目指します。また、会員増強に取り組み新しい血を入れ、組織の活性化を進めます。新しい会員を増やすためには我々会員企業が利益を出し、明るく前向きに経営者として成長できる環境をつくるのが大切と考えます。支部の代表として少し背伸びして1年間頑張ります。

御殿場支部長

前原 毅 氏

(ダイヤプラス(株)・御殿場支部)

こんな時代だからこそ「同友会の教え」をしつかり学ぶべき



今年度の御殿場支部は「同友会の教え」をテーマに活動を深めていきます。同友会では、経営者としての基

本となる「人」や「理念」など、経営の基礎となる教えを行っています。最近では、すぐに実践できそうな、ビジネスモデルやマーケティングなどのノウハウの手法に囚われがちですが、基礎がない経営の事業継続は難しいと私は考えております。私たちは経営者です。まずは、基礎となる「同友会の教え」を徹底的に行い、経営者だけではなく「人」として成長できる同友会活動を目指していかねばなりません。魅力ある人をつくるのが出来るのが、同友会の真髓だと信じております。こんな時代だからこそ同友会の本領発揮ではないでしょうか。

浜松支部長

大関 泉 氏

(株)ジー・ディー・エヌ・浜松支部)

浜松支部50周年へ向け、支部内コアメンバーを拡大し、今年度60名の浜松活性化組織へ



今年度スロークアン「出会いから大切な人脈に成長への答えは同友会に」です。私は2018年に入会し、この

度浜松支部長を拝命させていただきました。支部皆様に感謝いたします。浜松支部は県内で一番の歴史があります。その歴史に見合いの活力がみなぎる支部にしたいと考え、そうならば浜松市活性化の一助にもなると思います。誰かがやるではなくまず私がやるという主体的なモチベーションの支部へ全員で歩み、会員一人ひとりが主役の支部へ成長したいと思っています。

5月イベントロゼセミナー

職場・現場はあなたの晴れ舞台

～進化し続ける集団への道～

5月27日(金) 同友会会議室&ZOOM

オブザーバーや新会員にむけて同友会を知って頂く機会として、また仲間との交流の場として毎月開催しているイントロセミナー。5月は会員・オブザーバー合わせて20名が参加しました。静岡市清水区で建築板金業を営む青山達弘氏(株)青山建材工業代表取締役/県副代表理事・静岡支部)が登壇。同友会の全国大会での学びや書籍・ツールを自社で実践し、数々の困難を乗り越えてきた青山氏。現在の自身のテーマは「承継」だといいます。「何を承継するのかはそれぞれの立場によって違う。事業承継も技術承継も大切だが、最も重要なのは心(想い)の承継なのではないか」と参加者に伝えました。バズセッションでは青山氏の投げかけをもとに「それぞれの立場で考える承継」をテーマに、技術や事業の承継だけでなく想いを承継していく重要性を語り合いました。

次回は6月24日(金)に小栗崇利氏(株)小栗農園 常務/榛南支部青年部会長)が報告します。ぜひ

報告します。ぜひお知り合いの経営者にご参加ください。



青山 達弘 氏



お客様の生活と生命を 守ることを使命として

幸和ハウジング(株) (浜松支部)

代表取締役CEO (最高経営責任者) 鈴木 一道氏



鈴木 一道氏

静岡・東三河の豊かな暮らしを
守りたいという思い

幸和ハウジング(株)は創業者の鈴木芳彦氏が、画一的な家づくりや気候風土を生かしていい家づくり疑問を持ち「自分たちが静岡・東三河の豊かな暮らしが営める家づくりをしよう」という想いから創業しました。その後、戸建住宅から注文住宅、土地仕入れ、リフォームなど幅広い事業を展開するようになりまし。現在では、静岡県中部・西部をカバーする住宅



目指すのは「静岡で美しく、永く、住まう家」

会社に成長しています。

お客様の生活・生命を守ることを使命として

代表取締役CEO (最高経営責任者)の鈴木一道氏は「静岡で、デザインと耐震性を兼ね備えた家を造り、かつ社員の一人ひとりが人としてきちんと成長する会社にする」とを最も重要な想いとして掲げています。棟数を重ねて上げる売上よりもお客様の満足度を上げることを重視し、ひいてはそれが社員の満足に繋がることを目指しているそうです。

そして後半の社員の成長については、組織として失敗を恐れない風土作りを行い、社員同士で責任を押し付けあうことを防いでいます。これは、責任を負うことこそが各々の成長に繋がると思えるためです。そしてそれらを実現するためには、個人単位で物事を考えるのではなく、組織として物事を考えることができる人材の育成が課題と同氏は捉えています。



住み心地がよく使いやすいデザインにこだわる

この課題を解決するために現在は製造業の観点を取り入れ、よりよい製品をより迅速にお客様に届けるため、次の作業がしやすくなるよう部門間で情報の伝達を徹底、さらに後の工程となる他の部門への協力体制を敷いているとのこと。そのために他部門の業務への理解を深めつつ、それぞれの部門での責任の所在とその範囲を明確にしています。

思いを同じくする人材の育成を目指して

前章での課題をさらに実現するために、今後は毎年必ず新卒を採用していきたいと同氏は語

ります。特定の年代への人材の偏りを防ぐとともに、その育成を行う社員が教育を通して自身の業務のアウトプットを定期的に行い、自身の業務へのさらなる学びや気付きを得られるようにするためだと言います。そして地元の皆さまに支えられて今日までこれた企業だからこそ日々感謝を忘れず、真摯に、そして謙虚にリスタートし、さらなる教育を行っていくと今後の意気込みを話してくれました。

取材・記事 大杉卓也氏
(大杉卓也行政書士事務所・浜松支部)

幸和ハウジング(株)

〒435-0052 静岡県浜松市東区天王町1147-1

TEL : 053-461-1155

URL : <https://www.kowa-h.com/>

創業 1973年

社員数 78名 (パート含む)

入会年月 2022年3月

事業内容 不動産 注文住宅

会員訪問記

地域を愛し、地域を守る。
『人と人を繋ぐラジオ』を目指して。

(株)エフエム御殿場
局長 岩田 雅史氏 (御殿場支部)



岩田 雅史氏

地域の防災ツールとして
『富士山GOGOエフエム』の
開局は、地域におけるコミュニ
ティFMの役割を知ったことから
でした。「テレビやインターネッ

トから気軽に情報を入手できる時
代ですが、比較的広範囲によるも
のが多いため、災害時には生活に
密着した情報提供ができるコミュニ
ニティFMの存在が必要であると
強く感じます」と岩田氏。もしも

の時に「地元の病院の受け入れ状
況」や「給水車の派遣情報」、「近
くのコンビニの品揃え」等、ピン
ポイントな情報発信を行い、市民
に安心・安全な環境をいち早く提
供することを目指していると言
います。そのために日頃から番組や
CMで防災啓発活動を行い、さら
に自治体や警察、消防、NEXCO
O日本とも連携を深め、防災協
定を締結しました。また「防災
パートナー」として地元企業や教
育機関に協力を募り、啓発メッ
セージの発信や相互連携について
のシェアミーティング等を定期的
に行っています。また、岩田氏自
身も防災士の資格を取得し、社内
で情報共有して訓練を独自に行
うなど、災害時にも必ず動ける基
地局づくりを行っているそうです。

市民参加型のラジオ作り

コミュニティFMの役割をより
多くの方に知ってもらうためには、
普段からラジオを地域の人々に聴
いてもらうことが重要と考える同
氏。そのために、地元の郵便局や
JA、信用金庫へ店内での常時放
送に協力してもらったり、地域密
着の生活情報発信やイベント紹介
企画等、身近に楽しんでもらえる
ようなプログラム編成にも力を入
れているとのこと。例えば、車に
カラオケマシンを載せ、街行く人
に飛び入りで歌ってもらう「カラ



岩田雅史氏 (左から三番目) と取材陣

オケキャラバン」の企画では、訪
問した先々で数多くの参加があり
周囲からの反響も大きく、多くの
人に聴いてもらうことができました
です。「今後もオリジナリテイ
溢れる企画を考え、地域に寄り添
うラジオを目指していきます」と
同氏。これも、もしもの時に頼り
になる身近な存在のコミュニティ
FMを周知する大きな役割の一つ
だと言います。

同友会での学びに期待

「今年度は『飛び出していこう』
を目標に、コロナ禍でできなかつ
た生中継リポートの復活や、SN
Sの発信にも力を入れたい」と同
氏は語ります。この目標のごとく
同友会に昨年度入会、「まだ間も
ないため右も左もわからない状態
ですが、様々な業界の方がいる中
で、貴重な話を伺う機会ができる



ことをとても
嬉しく思っ
ています」と話
し、同友会で
目標を実現す
るための具体
的な方法や経
営についての
考え方を学
び、企業としてはもちろん、人間的にも成長していきたいと語って
くれました。

(株)エフエム御殿場

〒412-0045 御殿場市川島田532-1
エピ・スクエア内
TEL : 0550-84-0863
URL : https://www.863.fm/
設立 2014年3月 『富士山GOGOエフエム』として開局
社員数 4名、役員3名
入会年月 2022年2月
事業内容 地域の情報発信ステーションと、災害時に於ける緊急情報の発信を行う地域FMラジオ局

- 取材・記事：片野貴一郎氏 (株)モスク・クリエイション・御殿場支部
- 取材：石山美歌氏 (ラウンジジャーナル・御殿場支部)
- 鈴木翔也氏 (株)トップ御殿場営業所・御殿場支部
- 長島和彦氏 (株)長島文宝堂・御殿場支部
- 勝間田誠氏 (株)文化堂・御殿場支部

6月 16日(木)	中遠例会 (19:00 磐田市総合健康福祉会館 iプラザ&ZOOM)	7月 1日(金)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
16日(木)～ 17日(金)	第25回女性経営者全国交流会in島根 (13:00 くにびきメッセ、松江テルサ)	5日(火)	県組織増強委員会 (17:30 同友会事務局&ZOOM) 県広報情報化委員会 (19:00 同友会事務局&ZOOM)
17日(金)	富士・富士宮支部合同例会 (18:30 ふじさんめっせ 会議室&ZOOM) 県共同求人委員会 (19:00 同友会事務局&ZOOM)	7日(木)～ 8日(金)	中同協第54回定時総会in沖縄 (13:30 沖縄コンベンションセンターほか)
20日(月)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM)	8日(金)	富士宮例会 (19:00 志ほ川バイパス店&ZOOM)
21日(火)	第5回全県経営フォーラム実行委員会 (19:00 ZOOM) 県共育委員会主催ビジネスマナー&コミュニケーション研修 (9:30 男女共同参画センターあざれあ)	11日(月)	第19期経営指針を創る会③ (19:00 調整中)
23日(木)	県理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM) 伊東例会 (19:00 伊東商工会議所&ZOOM)	12日(火)	静岡例会 (19:00 ペガサート&ZOOM)
24日(金)	イントロセミナー (19:00 同友会事務局&ZOOM)	13日(水)	御殿場例会 (19:00 御殿場高原ホテル&ZOOM)
27日(月)	県女性経営者交流会 (19:00 同友会事務局&ZOOM) 三島例会 (19:00 三島商工会議所&ZOOM)	14日(木)	浜松例会 (19:00 ザザシティ 浜松中央館&ZOOM)
28日(火)	県例会企画委員会 (18:30 ZOOM) 第19期経営指針を創る会② (19:00 ペガサート&ZOOM)	15日(金)	第6回全県経営フォーラム 実行委員会 (19:00 ZOOM)



《 あなたのスケジュールノートに必要事項をご記入ください 》

新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1052名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
きのした たけあき 木下 武明	(有)浜名ファーム 農業(農産物の生産・販売・集出荷、水耕栽培の研究・開発及び販売)	浜松	大関 泉
ひらい ゆうすけ 平井 佑亮	(株)石萬 葬祭業(葬儀の受注・施行)	静岡	久高 洋司

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。

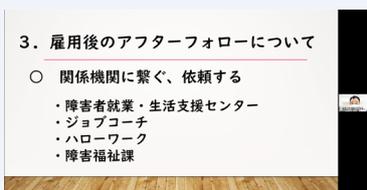
県障がい者問題委員会 関係機関との意見交換会

生き生きと働き続けるために大切なこと

～障がい者雇用のアフターフォローについて～

3. 雇用後のアフターフォローについて

- 関係機関に繋ぐ、依頼する
 - ・障害者就業・生活支援センター
 - ・ジョブコーチ
 - ・ハローワーク
 - ・障害福祉課



特別支援学校や障がい者支援機関などの関係機関と会員で障がいへの理解を深め合うことを目的に毎年開催している意見交換会。5月20日(金)にZOOMで開催し、計30名が参加しました。今年度は「障がい者雇用のアフターフォロー」をテーマに特別支援学校と支援機関よりそれぞれ報告を行いました。まず県立富士特別支援学校の大村孝行教諭より、卒業後1年目は企業訪問や電話でのヒアリングをしており、2年目以降、担任の異動があった際は関係機関に繋ぎフォローを依頼していると話しました。また実際に企業から相談を受けた際の事例を複数紹介しました。続いて障害者就業・生活支援センター「ぼらんち」の夏目芳行センター長からは、「当センターでは就業面・生活面を一体的に支援している。障がい者を雇用したい・雇用している事業者の方、お気軽にご連絡ください」と話しました。その後「職場定着に必要なこと」をテーマにグループ討論を行い、「企業・学校・家族・支援機関の四位一体の連携が定着のカギ」や「実習でマッチングを図ることが大切」、「本人とたくさんコミュニケーションをとり粘り強く取り組むこと」などの意見が交わされました。最後に西鉢亮貴障がい者問題委員長より「今回はZOOMで地域を超えた意見交換ができた。来年度または今年度中にリアルで集まる場をつくり、より交流を深めていきたい」との挨拶で締めくくりました。